

備前東地区夏季総合体育大会

大切なことは隠れて見えない

笑輝

第10号
加賀中学校
校長室

壮行式 6月12日(金)



各部門がステージに上がり、キャプテンを中心に力強い決意が表明されました。

6月13日・14日、20日の3日間にわたって、令和8年度地区総体が開催されました。これまでの練習の成果を出し切ろうと必死に汗を流した生徒のみなさん、本当にお疲れ様でした。私は野球部の応援に球場へ足を運びました。選手たちは最後まで声を掛け合い必死に白球を追いかけてましたが、結果は厳しく、悔しさにうなだれる姿に胸が熱くなりました。

しかし、心揺さぶられた光景は野球部に限りません。大会にすべてを懸けて挑んだ運動部、これから最後の舞台を迎える文化部のみなさん全員に共通する大切なことがあります。それは、本当に大切なことは得点の数字や勝敗の結果だけでは決して推し量れないということです。部活動という日

々の中で培ってきたものは、目に見える数字よりもはるかに価値があり、美しく尊いものです。入部当初の不安を自分の意志で乗り越え、日々の活動が始まってからも、思うようにいかない焦りや仲間との意見の食い違いなど、数え切れない葛藤があったはず。辞めたいと思ったこともあったかもしれません。それでもみなさんはどんなに苦しくても諦めずに乗り越え、今日まで活動を続けてきました。その「諦めなかつたプロセス」自体が、すでに素晴らしい勝利なのです。

さらに、みなさんの近くにはいつも「仲間」がいました。きつい練習を共に声を掛け合って乗り切った仲間、ミスをしたときに励ましてくれた仲間、ライバルでありながら誰よりも自分を理解してくれた仲間。この数年間で築き上げた絆は、表面的な友達関係を越えた、一生の財産となるものです。

そして何より、一番近くで支え続けてくださった保護者の方々の存在を忘れてはなりません。朝早くからのお弁当の準備、泥だらけのユニフォームの手入れ、試合や発表会の送迎や応援。みなさんが全力で駆け抜けることができたのは、こうしたご家族の深い愛情と支えがあったからです。ぜひ、感謝の気持ちを言葉にして伝えてほしいと思います。

こうした「悩みを克服した経験」「葛藤を乗り越えた心の強さ」「仲間との深い絆」「周囲への感謝の気持ち」はすべて、スコアボードには映らない目に見えない大切な宝物です。今は悔しさを感じている人もいるかもしれませんが、手に入れた宝物はこれからの人生でみなさんを支える強力な武器になります。中学校の部活動はここで一区切りとなりますが、学校生活はこれから

からも続いていきます。次に待っている進路選択などで大きな壁に直面したときは、この部活動で培った宝物を思い出してください。あの葛藤を乗り越えた自分なら進めると、自分を信じる力に変えていくことができます。勝敗を超えたところにある君たちの真の成長を誇りに思います。そして、みなさんのこれからも応援しています。

期末テストへ向けて

部活動の大きな節目を終え、学校生活は次のステップへ向かっています。そうです。期末テストです。今年度から、一部の実技教科のペーパーテストを取りやめるとい、新しい試みを始めました。この変更は、生徒のみなさんが、実施される教科により集中して、学べるようにという願いが込められています。ぜひ、この変化を「大変だな」と思うのではなく、「自分を変えるチャンス」と捉えてほしいと思います。

テストの数が絞られた分、一つの教科にかける時間は、これまで以上に増えるはず。これはと決めたことを何度も繰り返す。「苦手なところをじっくりと見直してみる」など、自分のペースに合わせた目標を立ててみてください。もちろん、分からないところは、先生方に、何度でも聞きに行ってください。

テストは、誰かと点数を競い合っで一喜一憂するためのものではありません。自分がどこまで理解できたかを確かめ、次のステップへ進むためにあります。今回のテスト改革を、自分の成長のための追い風に変えて、毎日、計画的に準備を進めていきましょう。私は、社会科の教員だったので、社会科のことなら聞きにきてください。